

2026 年度事業計画

自 2026 年 7 月 1 日 至 2027 年 6 月 30 日

【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」
【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」

【基本認識】

当協会の事業は、全国 414 施設、約 4 万人の在園児とその保護者・関係者による保育現場で取り組まれてきた。それは、真宗大谷派の青少幼年教化事業の流れを受け継ぎ、協会関係者に限定したものではなく、あらゆる人々を対象としている。

社会が大きく変化する状況の中、今一度「真宗保育」を掲げる協会の公益性を課題に向き合い、今後の事業を展望していきたい。

<研修テーマ「あそぶ-環境を考える-」>

「第 20 回全国真宗保育研修大会 in 東京」(期日:2025 年 5 月 10 日(土))において、新研修テーマとして「あそぶ-環境を考える-」の発表を行った。

本研修テーマを協会の研修に通底するテーマとし、さらに、各連区・支部においても同テーマでの研修開催を奨励していく。

<保育心理士会の一層拡充>

いよいよ少子化に向かう時代社会において、自らの人生を力強く生きる力が培われることを鑑みて、保育者等の専門性の向上に取り組む。

人間本来の生き方を求めることが希薄になった現代社会は、物質的な豊かさの中で生きることの意味が分からず、自身の存在さえも見失うことが多くなっている。保育実践の中で、幼年期に人間本来を求める基礎を培う保育活動を、養成講座・フォローアップ講座・研究会などを基盤として、広い知見を獲得する場を提供し支援するとともに、小さな人たちや保護者に寄り添う人の輪を広げていく。

【重点施策】

(1)真宗保育テキスト『ともにそだちあういのち—真宗保育の願い—』を基軸にした事業の展開

真宗大谷派学校連合会と共同して制作した真宗保育テキスト『ともにそだちあういのち—真宗保育の願い—』が 2026 年 9 月に発行予定。

各部門と連携をとりながら、テキストを基軸にした事業の展開を図り、普及に取り組む。また、各支部や連区における研修会での活用を推進する。

(2) 宗派の青少幼年教化事業との連携

公益性をもって取り組まれてきた協会の実践や知見をもって、宗派の青少幼年教化事業との連携をすすめる。

（３）宗派の定期刊行物等での課題発信

青少年層や子育て世代が、現代社会において抱える課題は、ますます多様化し深刻なものも多い。まずは、宗派の定期刊行物などの機会を最大限に活用し公益社団法人として存在する協会としてより一層の課題発信に努めていく。

（４）保育心理士の育成並びに活動支援の充実

①保育心理士の育成

「心によりそう保育者」を目指して 2000 年度より始まった保育心理士資格認定事業は、これまで 4,678 名の保育心理士を認定している。「保育心理士」は特許庁によって名称使用の専有が許可され認知度も向上しており、開かれた資格として社会貢献の一端を担っている。

2026 年度は、e ラーニング（ライブ形式・オンデマンド形式）による資格取得講座を実施する。加えて、毎年開催している保育心理研究会に加え、地方における保育心理研究会を新たに開催し、資格取得後の継続的な学びと交流の機会を拡充することで、保育心理士のフォロー体制の一層の充実を図る。

さらに、保育心理士の活動や意義について広報を強化し、資格の社会的認知と活用の促進に努める。あわせて、従前どおり保育心理士エリアマネージャーと連携し、地方における保育心理士フォローアップ講座の開催を促進に努める。

②保育心理士養成校の拡充

真宗大谷派学校連合会の加盟校である大谷大学をはじめとする学事施設との連携を一層密にするとともに、保育心理分野における情報共有及び学術的な取り組みが深まるよう養成校との関係構築、土壌整備に取り組む。

【一種】同朋大学大学院

【二種】九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田短期大学
九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学

③保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系構築の動向を踏まえ、当資格の人員育成を一層推進するため、資格取得講座を開催している各道府県において認定手続きを進める。

【これまでに認定された都道府県】

北海道、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県、鹿児島県、宮崎県

④保育心理士の活動の充実、および保育心理士各種手続きの IT 化

エリアにおける保育心理士の活動支援を充実させるため、保育心理会公式 LINE サービスを活用し、保育心理士エリアマネージャーと連携して、エリアごとのフォローアップ講座等の情報を保育心理士に適切に届ける体制を整える。これにより、地域に根ざした保育心理士の活動の一層の充実を図る。

また、これまで進めてきた保育心理士に関する各種手続きの効率化と利便性の向上を図る。

I 幼児教育及び保育内容の充実向上に寄与する事業（公益目的事業）

I-1 幼児教育及び保育に関する調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。理念、実践方法などについての研究を引き続き行う。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性をはかる。

（１）基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、乳幼児教育・保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催する。
- ② 新刊『ともにそだちあういのち-真宗保育の願い-』の刊行を機に、本テキストの周知と各研修会での活用を推進する。あわせて『真宗保育カリキュラム』のさらなる普及と内容の深化を目指し、真宗保育研究所および各部門と連携して取り組む。

（２）臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催する。
 - ・第19回保育心理研究会
開催時期：2027年2月（予定）
会場：大谷大学（予定）
講師：未定
 - ・【仮称】夏期 保育心理研究会
開催時期：2027年6月（予定）
会場・講師については、未定。
- ② 保育相談及び育成指導
研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行う。

I 幼児教育及び保育内容の充実向上に寄与する事業（公益目的事業）

I-2 幼児教育及び保育に関する教材、書籍、研究誌の頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努める。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催する。応募作品の一部で『しんしゅうこどもかれんだー』を発行し、市民に子どもたちの姿を伝える。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行う。

（１）保育教材の頒布

① 各教材の頒布

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
合掌人形 しんらんさま	650 円	550 円	-	200
うでわ念珠 青 子ども用	250 円	174 円		1000
うでわ念珠 青 大人用	250 円	184 円	1,000	1000
うでわ念珠 ピンク 子ども用	250 円	174 円		1000
うでわ念珠 ピンク 大人用	250 円	184 円		1000
白念珠	180 円	160 円	1,000	800
念珠袋	320 円	302 円	-	800
おつとめちょう	100 円	91 円	-	500
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円	-	30
八女ちょうちん	240 円	207 円	500	500
しんしゅうこどもかれんだー	370 円	330 円	5000	5000
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500 円	1,827 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000 円	859 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000 円	575 円	-	100
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円	-	10
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円	-	10
お誕生シール<慶讃記念教材>	110 円	81 円	-	1,000
サガエさんに聞いてみよう 真宗保育 Q&A	1,650 円			

（２）新教材の発行

① 園児絵画展に応募された作品で「しんしゅうこどもかれんだー」を制作する。

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅱ－１ 幼児教育及び保育関係者に対する研修会事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に臨めるよう研修内容をより深めていく。

引き続き各連区・支部において、協会の研修に通底するテーマである「あそぶ-環境を考える-」での研修開催を奨励していく。

また、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行う。

（１）研究会・研修会事業

① 第 67 回仏教保育大学講座 事前学習会

期 日：2026 年 7 月

会 場：未定

参 加 者：仏教保育大学講座 指導員・生活指導員

② 第 67 回仏教保育大学講座（浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・真宗佛光寺派・真宗興正派・真宗高田派共催）

誰しもが数年の保育経験によって、自分の保育に対して限界を感じたり、さまざまな悩みを持つ。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる機会とする。

日程においては、少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深めあう。

対 象：2 年目以上の保育者

期 間：2026 年 8 月 1 日（金）～4 日（月）

会 場：西本願寺聞法会館・三木半旅館

講 師：鍋島 直樹（龍谷大学文学部教授）

募集人数：72 名

③ （仮称）実践研修会

真宗保育テキスト『ともにそだちあういのち—真宗保育の願い—』をテキストとして、真宗保育の願いとその実践を学ぶことを目的として、対面型研修会として開催する。

対 象：保育者

開催時期：2026 年 9 月 29 日～10 月 1 日

会 場：大谷大学湖西キャンパス

募集人数：20 名

会場・講師については、未定

講師は、『ともにそだちあういのち—真宗保育の願い—』の執筆者に依頼予定。

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3 ポイント付与）

④ 真宗保育研修会

真宗保育テキスト『ともにそだちあういのち—真宗保育の願い—』をテキストとして、全国どこからでも学べるオンライン研修会として開催する。

対 象：保育者

開催時期：2026 年 11 月（平日、午後に開催）

開催方法：ZOOM

講 師：未 定

（『ともにそだちあういのち—真宗保育の願い—』の執筆者に依頼予定）

募集人数：50 名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3 ポイント付与）

⑤ とともにそだちあう研修会

真宗保育テキスト『ともにそだちあういのち—真宗保育の願い—』の普及・促進を図り、地方出張型研修として開催する。

対 象：保育者

募集人数：50 名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3 ポイント付与）

・開催時期・講師については、現在未定

⑥全国真宗保育研修大会

期 日：2027 年 5 月 15 日（土）

会 場：グランドメルキュール札幌大通公園

（北海道札幌市中央区北 1 条西 11 丁目 1 番地 1）

参 加 者：設置者・園長・保育士・保育に関心のある方

定 員：未 定

運 営：北海道支部

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅱ-2 幼児教育及び保育従事者に対する資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行う。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6.5%ともいわれ増加傾向とされている、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、一人ひとりが人として生きていくための育ちを求め、学術的研究を学びながら保育者の資質向上に努める。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指す。

また、2013年度から二種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き一種資格への誘導を促進する。あわせて年会費徴収の向上を目指す。

保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組む。

（1）保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座

①eラーニング形式 保育心理士取得講座

昨年度に引き続き、eラーニング形式（ライブ形式・オンデマンド形式）の保育心理士取得講座を開催する。

より受講しやすい環境を整え、保育心理士養成の充実を図る。

《オンデマンド形式・ライブ形式(zoom)・修了式》

期 間：2026年9月～2027年1月（予定）

②保育心理士フォローアップ講座（オンライン）

開催時期：①2026年8月下旬（予定）

②2027年3月（予定）

（2）保育心理士フォローアップ講座

3年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催する。講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して行う。

（3）エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請があった場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催する。

（4）「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募る。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000 円		
二種会員	3,000 円		
賛助会員（個人・法人）	3,000 円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

(5) その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士資格認定委員会】

期 日：2027 年 3 月（予定）

会 場：真宗大谷派宗務所（予定）

【保育心理士会集会】第 19 回保育心理研究会と併催

期 日：2027 年 2 月（予定）

会 場：未 定

【保育心理士講師集会】

必要に応じて開催

【保育心理士会幹事会】

年に 3 回程度開催

【エリアマネージャー会議】

期 日：2027 年 2 月（予定）

開催形式：オンライン会議（zoom）

② 保育心理士（二種）養成校との協議会

期 日：2027 年 3 月（予定）

保育心理士資格認定委員会と同日開催

開催形式：オンライン会議（zoom）

③ 保育心理士（一種・二種）養成校との協議会

必要に応じて開催

Ⅲ 幼児教育及び保育に関する一般社会への啓発啓蒙事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供する。

（１）機関誌等の配布

① 月刊誌『真宗保育』を頒布する。

「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとする。

② 機関誌『ほいくしんり』（協会編、エイデル研究所発行）を頒布する。

（２）協会ウェブサイト ホームページの運営

分かりやすく、親しみのある情報発信につながるよう、コンテンツの見直し等検討を重ねていく。

また、支部や加盟園で行っている活動報告を掲載するなど、協会全体で情報を共有できるよう連携を図っていく。

（３）園児絵画展

真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて展示する他、協会ホームページ上において作品を公開する。

期 間：2026年11月13日（金）～11月28日（土）正午まで

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下・しんらん交流館
京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児

（４）“こどものうた”事業

協会の研修テーマをもとに楽曲制作を行ってきた“こどものうた”事業は、総集編CDアルバム（2021年11月発行、全8曲収録）をもって完結。今後も保育現場のみならず、寺院における子ども会等に歌っていただけるよう引き続き広報活動を行う。

（５）広報・課題発信の拡充

『真宗保育』の発行、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報を試行していく。

（６）「子どもの森づくり運動」への参加

NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及協力団体として、自然保護、環境学習の意識高揚に努める。（現在、加盟園8ヶ園が参加）

Ⅳ 共益事業 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

全国支部より参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行う。

（１）人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請する。

（２）加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努める。

（３）各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努める。

（４）「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努める。

（５）会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月１回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載する。

（６）「加盟園就職支援ポスター」の発行について

幼稚園教諭、保育士、保育教諭を目指す養成校の学生に向け、加盟園就職支援ポスターを制作する。

（７）真宗大谷派学校連合会加盟保育士養成校との連携体制の構築について

真宗大谷派学校連合会加盟の保育士養成校との課題および情報共有を目的とした連絡協議会を開催する。

保育士養成校との連絡協議会（年１回）

（８）その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状 会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送る。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送る。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達する。（各支部長経由）

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送る。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送る。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し組織運営の安定と活動を支える。
公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開する等、当協会の活動を広く世間に知らせていく。

（１）管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行う。

（２）協会ＩＣＴ環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開し、社会的責任を果たす。また、協会のＩＣＴインフラの維持運営、協会保有データの保全に関して、機密性を維持するとともに適時改善する。

今年度は、社会的状況を受け、オンラインによる会議、研修、広報等、さまざまな可能性を各部門連携のもと試行していく。

（３）採用情報の提供

幼稚園教諭、保育士、保育教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校生対象に、協会加盟園への採用情報をポスター類やホームページを用いて提供する。特に大谷大学との連携を深めながら事業に取り組む。

（４）加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行う。定期的な加盟園名簿の改訂を行う。

（５）常務理事会に関する事項

年に３回以上必要に応じて開催。

（６）役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第３６回（事業報告・決算承認）

期 日：2026年８月31日（月）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第１５回定時総会

期 日：2026年９月15日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第３７回（臨時理事会/正副理事長・常務理事改選）

期 日：2026年９月15日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

エ. 第３８回（次年度予算・事業計画）

期 日：2027年５月（予定）／会場：真宗大谷派宗務所

※いずれもWEB会議（ZOOM使用）にて開催する。

（７）諸会議に関する事項

① 正副部所長会 年１回以上必要に応じて開催

年間活動計画の策定と活動状況の報告を行う。

② 総務部会に関する事項 活動の状況に応じて随時開催